

新製品開発におけるフロント・エンド・ローディング  
“一気通貫とテーマ創造”  
(新型コロナウイルスの影響を超えて)  
— テーマ創造 —  
(株) ジョンケルコンサルティング 落合以臣  
A Front-End Loading in New Product Development  
“One-stop communication and theme creation”  
(Beyond the effects of the new coronavirus)  
-The creation of a theme-  
Shigemi Ochiai, Jonquil Consulting Inc.

Keywords : 恐怖心・葛藤・元の木阿弥・旧態依然・千載一遇・チャンス・労力・転換・一気通貫

### 新型コロナウイルスの影響と恐怖心

人間の安定性を考えますと、人間は恐怖心が極度に大きくなりますと、その不安から早く元の状態に戻そうとする可逆的な力が働くと言われます。これは、誰もが経験することで、さして珍しいことではありません。その恐怖心から元の状態に戻そうとする過程を通して、色々な葛藤を繰返し、最終的に落ち着くところに落ち着くと言ったところでしょうか。よく、巷の言葉で「元の木阿弥（モトノモクアミ）」という言い方を思い出します。この約 1 年を振り返れば、新型コロナウイルスの影響も終息の気配すら感じることもできず、逆に拡大しており、このままでは 2021 年にもっと厳しい状況になるのではないかと予測します。

見方を変えれば、新型コロナウイルスの発症は、新たな時代の始まりとも言えます。この現実を受けて、2021 年から始まる新世紀に向けて、「元の木阿弥」にならないような方策を立案し、それを粛々と実行して行くことが、恐怖心から元に戻るのではなく、その恐怖心を打ち破る武器になるのではないかと思います。前置きが長くなりましたが、新製品開発も同様なことと言えます。特に重要なことは、良い意味では企業に培われた設計指針、悪く言えば複雑化しすぎた設計指針、言い方は違えどいずれの設計指針も旧態依然とした方法であると言っても過言ではないでしょう。その旧態依然とした設計指針をドラスティックの転換するきっかけが、新型コロナウイルスの発症であると思います。この千載一遇とも言えるチャンスを掴むことができる企業が、新時代の到来に向けて、新たな船出ができるのではないかと思います。

### 一気通貫とテーマ創造

では、新たな船出となるような設計指針とはどのようなものなのでしょうか。それは、テーマ創造からくる新製品テーマ、そのテーマから設計、試作品、製作、試験、検査、上市までの一連の流れを可視化し、新製品開発の関係者が共通の認識を持てるような設計指針であると言えます。言い換えますと、テーマ創造から上市までの一気通貫設計指針とでも言いましょうか、連続的な視点で新製品価値を見極めることであると思います。しかしながら、今までの設計指針を新型コロナウイルスの影響のように、一夜にして転換せざるを得ない状況になったからと言って、根本から覆せるような状況にあるかといえば、そう容易くできることはありません。実は、根本的な問題は、ここにあることに気づかない。つまり、新たな設計指針を作りたくないのです。作ろうとすれば、相当な労力を必要とします。この労力を費やそうとする開発エンジニアが、少なくなったからと言い切れます。誠に残念なことです。しかしながら、新型コロナウイルスの影響によって、新たな転換をするべきだと認識した開発エンジニアと企業は、前途洋々たる船出ができると思います。

### 師走に向けてのご挨拶

2020 年も師走に入り、今まで以上に慌ただしい日々であると思います。今年は、新型コロナウイルスの影響を受けて、世界のあらゆる分野・構造が、破壊されてしまったと言えます。しかしながら、このカストロフィックな現象は、逆に人類繁栄の兆しでもあると思います。2021 年は、ここに期待したいと思います。

本年は、JQ International Review をご愛読いただき、誠にありがとうございました。御礼申し上げます。2021 年は、皆様にとって幸せ多き年になるようにお祈りしたいと存じます。では、皆様、良いお年をお迎えください。

---